

H28年産大麦情報第2号

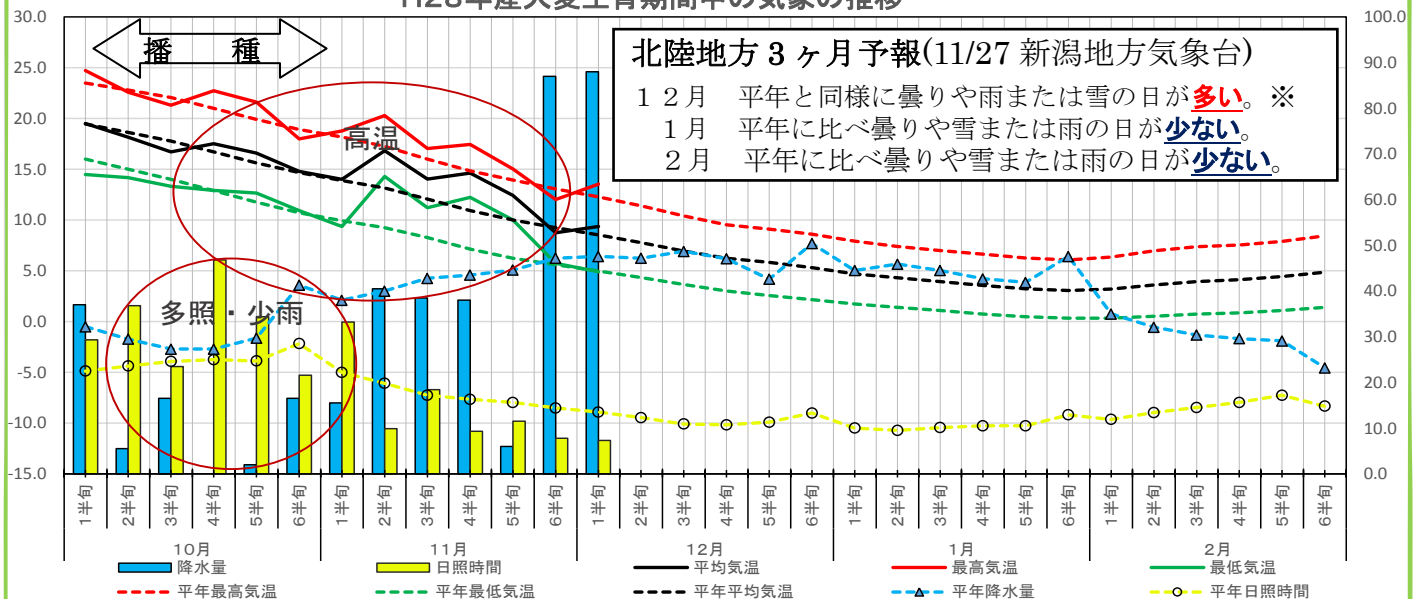
平成 27 年 12 月 10 日
J A 松 任
白山石川営農推進協議会

排水対策および除草対策の徹底により、
茎数の確保に努めましょう。

1. 大麦生育期間の気象経過 (10/1 半旬~12/1 半旬)

金沢アメダスデータ

H28年産大麦生育期間中の気象の推移



※北陸地方 1か月(12/5~1/4 まで)の予報(12/3 新潟地方气象台)

平年に比べ、曇りや雨または雪の日の少ない。

平均気温: 高い確率70%、 降水量: 平年並または少ない確率ともに40%、
日照時間: 平年並または多い確率ともに40%、 降雪量: 少ない確率50%。

2. 生育状況 (11/11 及び 12/8、管内 4 か所調査)

- ・本年播種期の 10 月上旬から下旬にかけて、降水量は平年より少なく日照も多く推移し、出芽・苗立ち数は 4 か所の平均で 186 本/m²と目標苗立ち数(150~180 本/m²)を確保した。
- ・11 月に入ると中盤に平年並の降水があったが、気温は平年より高く推移し、草丈 26cm(前年 16cm)・茎数 680 本(〃 546 本)/m²と生育は促進された。

〈越冬前 生産者ほ場一斉調査(12/7、管内 25 か所)〉

草丈 : 26.6cm(13.7~36.0cm)

茎数 : 514 本/m²(313~839 本/m²)※目標 500~650 本/m²

- ・11 月末から 12 月初頭にかけては天気が崩れ、あられが降り積もる日もあり、茎葉の傷みが見られた。
- ・一部にスズメノテッポウ等の雑草の発生が見られた。



草丈 32cm, 茎数 700 本/m²のほ場

〈裏面へ〉

3. 今後の管理

現在の生育状況からは、越冬前の生育量は概ね確保されています。

①排水溝の点検

ほ場内の畦や排水溝に停滞水が見られます。排水溝を点検し、連結等の補修作業を行い、停滞水を排除して茎数を維持しましょう。



圃場内に停滞水が残っている状態



圃場表面水の排除を実施した状態

②本田の発生初期雑草の除草対策について (雑草が発生したほ場のみ散布)

薬剤名	使用量	使用時期	適用雑草	使用回数
ハーモニー 75DF 水和剤	10g/10a (希釈水量 100L)	節間伸長前 (3月上旬頃)まで	一年生広葉雑草, スズメノテッポウ等 (スズメノテッポウ5葉期まで)	1回
アクチノール 乳剤	200ml/10a (希釈水量 100L)	穂ばらみ期 (3月中旬頃)まで	畑地一年生広葉雑草 (雑草生育初期)	2回 以内

注) 今後の天候や気温を見て、随時薬剤散布を行って下さい。

◎発生雑草による薬剤選択の目安

広葉雑草主体 : アクチノール乳剤 スズメノテッポウ主体 : ハーモニー75DF 水和剤



カラスノエンドウ



タネツケバナ



スズメノテッポウ